

## 「国、北海道及び夕張市の三者協議」の結果概要（速報）

## 1 概要

社会保障・税一体改革による制度改正などに伴う収支の変化及び市営住宅再編事業（Ⅱ期計画）などの地域の再生や市民生活の安全安心に不可欠な事業を計画に反映させること（財政再生計画リニューアル）を目的として協議を行った。

また、地域活性化に資する市の取組及び公共施設老朽化対策について、三者で認識を共有し、その実現に向けての基本的な方針について確認した。

## 2 協議のポイント

## (1) 市営住宅再編事業（Ⅱ期計画）などの事業

市営住宅再編事業（Ⅱ期計画）などの地域の再生や市民生活の安全安心に不可欠な事業については、計画変更に向けた具体的協議を前向きに進めていくことで合意した。

## (2) 地域活性化に資する市の取組

ア コンパクトシティの構築や地域活性化の柱となるCBM開発の実現に向けて、地域活性化モデルケース選定によるメリットを最大限活用しながら、前向きな取組を行っていくという基本的な方針を確認した。

イ ズリ採取事業をはじめとする地域エネルギーの有効活用の推進に向けて、国の交付金制度等を活用し、民間事業者等との連携を図りながら、前向きな取組を行っていくという基本的な方針を確認した。

ウ 市の基幹産業である「夕張メロン」ブランドの維持推進を図るため、国の地方創生に向けた政策の動向を見極めながら、関連する振興施策に沿った対策に取り組んでいくという基本的な方針を確認した。

## (3) 公共施設老朽化対策

公共施設の老朽化対策については、今後、公共施設等総合管理計画を策定することを前提に、今回計画計上が必要な事業については、計画変更に向けた具体的協議を前向きに進めていくことで合意した。

## ■三者協議において合意した主な事業（11項目）（※（ ）内数値は事業費。単位：百万円）

- ・市営住宅再編事業（Ⅱ期計画）(2,609)
- ・初期救急医療体制の確保（市立診療所における初期救急体制充実に必要な補助の増額）(153)
- ・公園施設の補修(118)
- ・橋梁の点検・補修・架替(408)
- ・郷土文化施設のあり方（炭鉱生活館の解体）(15)
- ・旧富野じん芥焼却場の解体(115)
- ・観光施設のあり方（国のアドバイザー招へい制度等を活用した検討）(9)
- ・夕張市耐震改修計画に基づく耐震診断等(23)
- ・し尿処理場閉鎖に伴う維持管理（現処理施設の受け入れ停止後の残留し尿の処理費用）(10)
- ・し尿処理場閉鎖に伴う各処理槽清掃(95)
- ・行政執行体制の確保（実態に見合った職員採用を含めた必要な体制の確保）(83)